

講演2

行政と医療機関の連携によるCOVID19拡大防止策:
SAGA 2020/21

佐賀大学医学部国際医療学講座・臨床感染症学分野
 佐賀大学医学部附属病院感染制御部 青木洋介

1



佐賀県感染防止対策地域連携協議会

Hizen Infection Control Practice and Conference - Saga




HICPAC-S

2

佐賀県感染防止対策地域連携協議会



「佐賀県感染防止対策地域連携協議会」会則

第1条：名称


本会は、佐賀県感染防止対策地域連携協議会（Hizen Infection Control Practice and Conference - Saga）と称し、略称をHICPAC-Sとする。

第2条：目的

本会は、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、および医療・介護に従事する者が感染対策の課題について検討し、協力関係のもとに地域の感染対策に質向上をもたらす。また、佐賀県下の医療機関、および行政機関と密接に連携し、良質の医療体制の構築に貢献すると同時に相互の知識向上を図ることを目的とする。



2017年11月18日

3



佐賀県感染防止対策地域連携協議会

Hizen Infection Control Practice and Conference - Saga

<p>佐賀中部保健福祉事務所 鳥栖保健福祉事務所 杵藤保健福祉事務所 伊万里保健福祉事務所 唐津保健福祉事務所 佐賀県健康福祉部健康増進課</p> <p>NHO 嬉野医療センター NHO 佐賀病院 NHO 肥前精神医療センター NHO 東佐賀病院</p> <p>JCHO佐賀中部病院 済生会 唐津病院 唐津赤十字病院 小城市民病院</p>	<p>織田病院 ひらまつ病院 今村病院 やよいがおか鹿毛病院 大島病院 新武雄病院</p> <p>佐賀県医師会 佐賀県看護協会 佐賀県薬剤師会</p> <p>佐賀県医療センター好生館 佐賀大学医学部附属病院</p>
--	---

4

佐賀県感染防止対策地域連携協議会



HICPAC-S

「佐賀県感染防止対策地域連携協議会」会則

第3条：事業

本会は第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 地域の医療施設・介護施設や一般市民を対象とした感染対策の啓発・普及活動。
2. ホームページを開設し、インターネットを活用して情報を発信・共有、地域の医療施設・介護施設を対象として感染対策に関する相談窓口の開設。また、メーリングリストによる情報交換。
3. 原則として年1～2回の学術集会「佐賀感染防止対策地域連携セミナー」の開催。
4. その他（アウトブレイク発生時の改善支援、パンデミックインフルエンザや災害時の感染症発生に関する状況の把握と感染対策に関する専門的支援 など）

2017年11月18日

5



HICPAC-Sによる佐賀県A・B地区水害の感染対策支援報告と今後の課題

佐賀県感染防止対策地域連携協議会¹⁾

○執行えりこ²⁾、重松孝誠³⁾、坂本龍彦⁴⁾、中里栄介⁵⁾、三原由紀子⁶⁾、青木洋介⁷⁾

背景

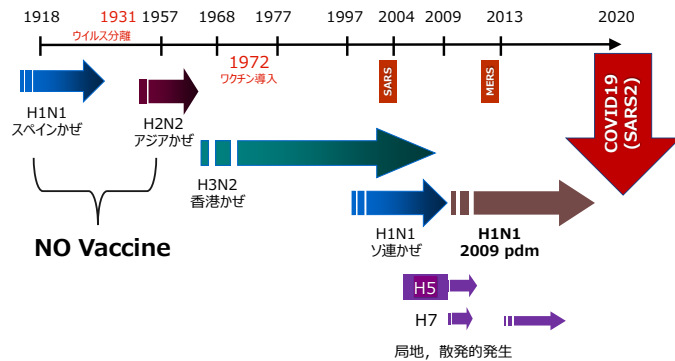
佐賀県感染防止対策地域連携協議会（Hizen Infection Control Practice and Conference-Saga、以下HICPAC-S）は、2017年11月に主に県内の中核医療機関のICD、ICN、保健所の保健監、その他専門的知識を有する者として連携し、地域の感染防止対策に資する目的で発足した。今回、2019年8月28日に発災した県内A・B地区の水害において、A地区避難所の感染性胃腸炎集団感染事例について介入したため報告する。

A地区避難所における嘔吐下痢患者の推移



6

Pandemiaの歴史



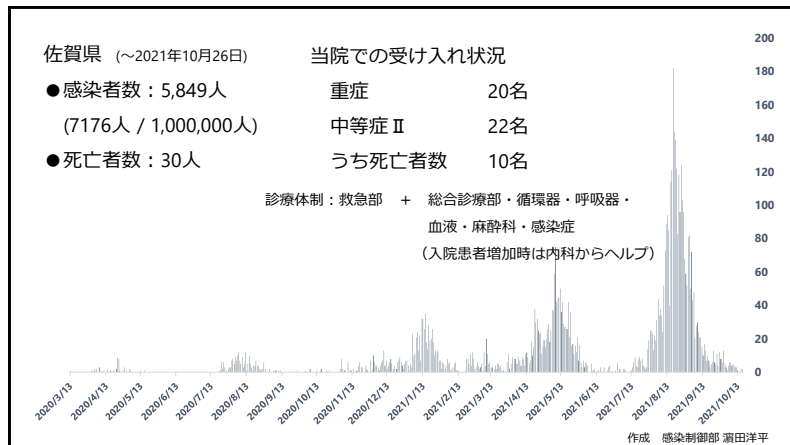
7



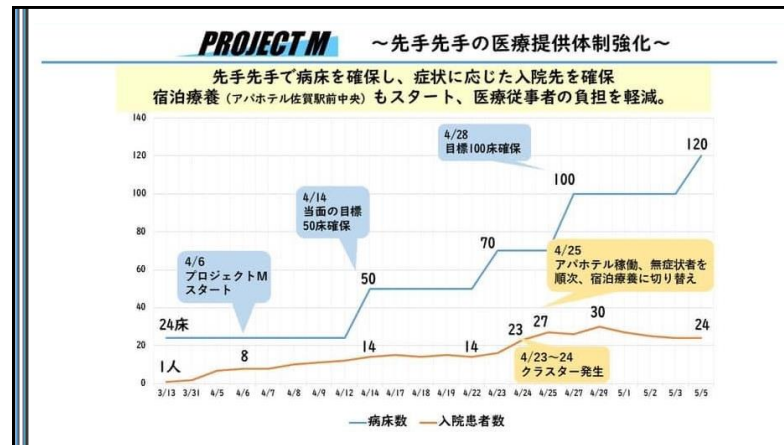
Wasn't the Pandemic Supposed to be Flu?

© Reuters/F. CoRini

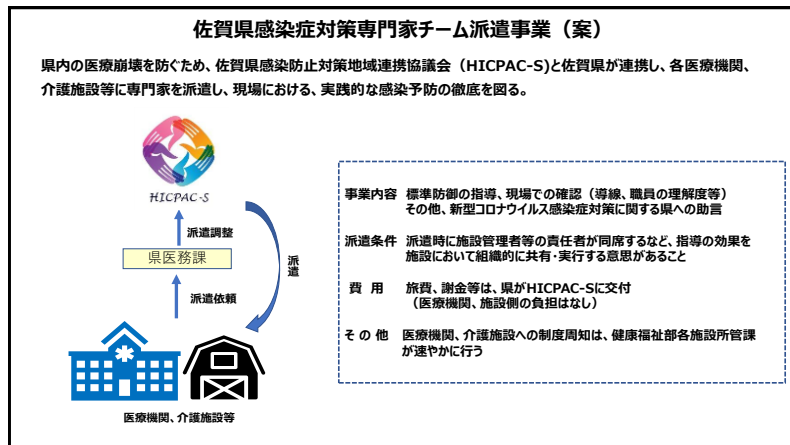
8



9



10



11

派遣活動開始まで

2020年5月下旬
介護施設でのクラスター発生。感染症対策専門家チームの派遣事業の発足・活動要請

2020年7月中旬以降
県内5医療圏で介護療養型施設職員を対象としたCNICによる感染対策の集合教育

2020年9月初旬～
感染症対策専門家チームの派遣・現地指導

12

派遣・現地指導



目的：標準予防策と感染経路別予防策などの基本的な感染対策について現地指導を行う

対象：長期療養型施設および福祉施設等、感染リスクの高い個人のケアを担当する施設を対象とする

方法：感染対策セルフチェックシートを用いた情報収集と環境ラウンドにおける現状把握と指導

フィードバック：施設訪問報告書を作成し、当該施設へHICPAC-S事務局より送信

13

活動の実際：集合教育

(計4回；県内5医療圏 / 4ブロックに分けて実施)

感染対策の基本



感染経路別予防策推進協議会



- 方法：① CNICが中心となって作成したスライドを用いて各施設代表参加者に集合教育
② 各施設代表参加者が自施設で伝達教育



14

活動の実際；派遣・現地指導 (派遣人員；医師・保健監・CNIC・保健師)



- 方法：① CNICが中心となって作成したチェックシートを事前に各施設に送付しセルフチェック
② 各施設で実施されたセルフチェックを元に派遣員が環境ラウンドおよび現地指導


15

感染対策セルフチェックシート

手衛生	職員健康管理について
手洗い回数確保されている	出勤時は体温測定と体調に問題がないか(風邪症状、下痢等)確認してから就業している
手洗い場にはハンドソープが準備されている	症状がある時は、勤務を控えることができる。または勤務を控える対応をしている (個室でできる体制が、勤務交代できるシステムがあるか、等)
アルコール含有手指消毒剤が設置されている	職員の家族が感染症に罹患している場合は、所長等に報告するよう指導している
更衣(入所前)の手指衛生(手洗い/手指消毒)が実施されている (必要性を説明している)	施設(入所者)の現状把握の観察 健康状態を毎日確認している(体温、咳、頭痛、嘔吐の場や嘔吐、呼吸、嘔吐、下痢症状、発疹、食事摂取量等)
職員への手指衛生の教育が行われている	症状のある職員(入所者)への対応
個人防護具について 必要な時、不燃素材の個人防護具が準備されている(使用している防護具に「ここが汚れる」という追加の「手袋-1」や「フェイスシールド」を付す)	発熱、嘔吐下痢など感染症が疑われる時には、隔離する場所が決まっている
個人防護具の着脱のタイミング、着脱方法について研修を実施している	隔離する部屋は、他の患者(入所者)と接触が避けられる場所である
職員が個人防護具を正しく着用しているか確認している	感染対策通知
施設整備	感染対策に関するマニュアルが準備され、職員が閲覧できるように工夫されている
整理整頓がされている	施設内感染を疑った場合の報告、連絡体制が整備されている
環境整備(清掃)する箇所や頻度、担当者が決められている(手洗い/消毒されている)	手衛生、咳エチケットなど具体的な方法を示したポスターなどを掲示している
環境整備(清掃)に使用する洗剤や消毒薬が準備され、使用している	発熱症状や嘔吐などがある職員、患者(入所者)にはサーマルマスク着用を促している
定期的に部屋の換気を実施している	施設情報
シーツなどより頻りに交換している	感染対策に関する能力医療機関がある
	感染対策の支援を(指図)を受けたことがある
	感染対策の情報(最新情報、感染対策ツールなど)を活用している

16

施設・現場へのフィードバック



方法：①施設訪問報告書を作成
②当該施設へHICPAC-S事務局より県医務に報告

施設名称：直野老人ホーム、山形県

施設長：山形老人ホーム、山形県

訪問日時：2021年10月4日（月） 14:00～15:00

【確認項目】

1. 介護サービスの提供状況、高齢者からの受け入れ状況
2. 職員の手洗いやマスク着用状況、体調確認
3. 入居者の食事状況
4. ケア時の感染対策状況

【アポイント項目】

1. 有野老人ホーム11名、高齢者サービスは、高齢者の受け入れ（週1回）、器具、タオルを共用している（自分のタオルなど、履かれない）、通所は、十分なマスク着用、換気も1時間ごとに実施、感染対策は、次亜塩素酸Naも使用している。毎分20分、レーザー照射、健康チェックは、行われ、手洗い消毒も職員が、1人1人に配り実施されている。面会禁止も徹底されていた。
2. 職員は入り口で健康チェックされ、異常があれば就業前に連絡し、休んでもらうよう対応が現場に注目された。

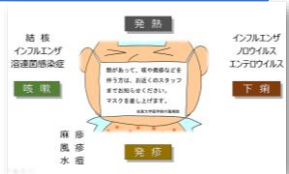
17

職員および入所者の健康管理

施設内での感染症流行は、
①市中感染した職員が、施設内に持ち込む
②患者・入所者からの拡大

1. 職員の健康管理

- ・毎日の体調管理(流行期は体温や症状の自己検疫を)
- ・**体調不良時は『速やかに申告』『無理せず休む』**
- ・**『休ませる』体制づくり＝感染症を持ち込ませない**
- ・同居者の体調確認(インフルエンザ流行期など)



30代女性看護師が新型コロナ陽性 院内感染の可能性は低い = 市中感染の持ち込み

2020年5月23日 21:36

大阪府の集団感染の病院、看護師陽性後も勤務指示

2020/4/23 21:36 (2020/4/23 22:21更新)

18

職員および入所者の健康管理

2. 入所者の健康管理

- ・毎日の体温測定、かぜ症状や消化器症状の観察
- ・かぜ症状がある、感染性下痢症が疑われるときは、**他の患者・入所者との接触・曝露を極力減らす**

→個室・居室などでの隔離

呼吸器症状の場合、カーテンを引くだけでも最低限の隔離になる
動線が交わらないようにする、など

* 発熱
かぜ症状(咳、痰、咽頭痛)
消化器症状(嘔気嘔吐・下痢)



19

感染症の拡大を規定する因子

Duration
Opportunity
Transmission probability
Susceptibility

R

2m

CONTAGION

Why Things Spread - and Why They Stop

https://mediacdn.nhs.com/jackets/jackets_resizer_xlarge/25/251442.jpg



20

基本再生産指数 $R_0 = 2.5 (!?)$ $P \rightarrow$ 動かずにいる人の割合

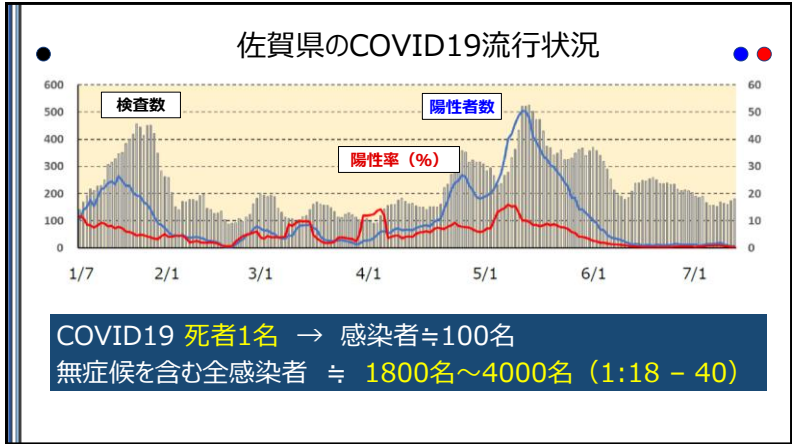
実効再生産指数 $R_e = (1 - P) R_0 < 1$

$P > 1 - \frac{1}{R_0} = \frac{3}{5} = 0.6$

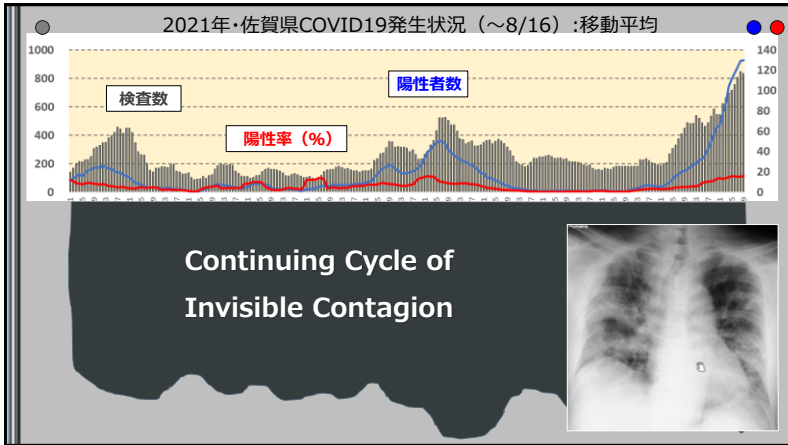
$\Rightarrow 80\%$

京都大学 西浦博 教授

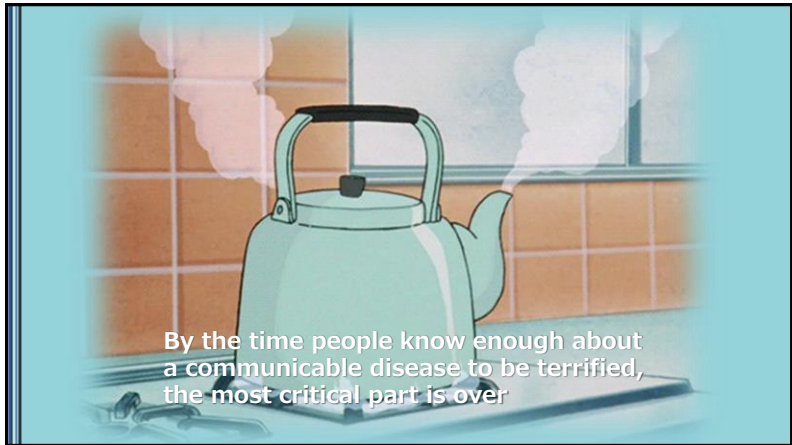
21



22



23



24

ウイルス感染症の拡大を規定する因子

D・罹病期間
O・接触機会の多寡
T・接触で伝播する可能性

Susceptibility

集団における感受性個体の割合

https://mediacdn.mbs.com/jackets/jackets_realizer_w_large/23/431442.jpg

25

Cumulative vaccinations

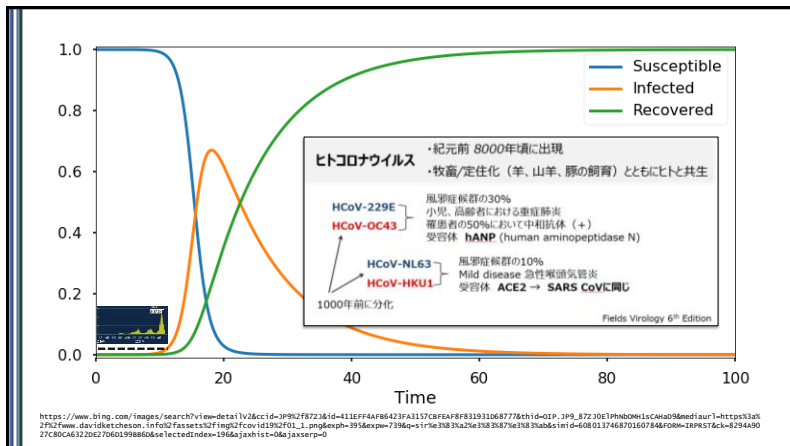
Japan vaccine progress

Updated 9月21日 at 9:00 local

2nd dose administered	1st dose administered	Total population	Doses per 100 people
69,837,576 (54.9%)	85,134,310 (66.9%)	127,288,000	121.75

See more on vaccines

26



27

Microsoft Bing HICPAC

123,000 Results Any time

HICPAC | CDC
<https://www.cdc.gov/hicpac>

Infection Control Guidelines
 Library of infection control guidelines and recommendations for healthcare settings...

CDC Home
 CDC Home - HICPAC | CDC

佐賀県感染防止対策地域連携協議会
<https://www.hospital.med.nagasaki-u.ac.jp/cnc/hicpac/>

Guidance Documents | HICPAC | CDC
<https://www.cdc.gov/hicpac/recommendations>

2018/12/27 Guidance on Public Reporting of Healthcare-Associated Infections - Recommendations of

Antimicrobial spectrum

Think globally, Act locally

28